

平成30年度予算概算要求

週末の3連休を襲った台風18号、九州に上陸して日本列島を縦断し、各地に大雨や強風の被害をもたらしました。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

中日を過ぎた大相撲秋場所は、白鵬、稀勢の里、鶴竜の3横綱が休場、高安、照ノ富士の2大関も怪我で途中休場となり、若手の活躍はあるものの、盛り上がり欠ける寂しい場所となっています。休場した上位陣には一日も早く怪我を治し、元気な姿で優勝争いするのを期待したいと思います。

さて、8月末に各省庁の平成30年度予算の概算要求が財務省に提出されました。一般会計の要求総額は、約101兆円と4年連続の100兆円超えとなりました。厚生労働省の要求総額は、前年度当初予算に比べて7,426億円、2.4%増の31兆4,298億円、このうち医療・介護・年金等に係わる経費は6,491億円、2.3%増の29兆4,972億円と、いずれも過去最大規模となりました

医薬品等の関係では、医薬品・医療機器の安全対策の強化並びに革新的な医薬品・医療機器等の実用化促進の図るため、

- 比較臨床試験等の臨床試験の実施が困難な難病や希少疾病について、医療情報等のデータベースを利用し、実臨床における各種データを活用した効率的な医薬品開発に資する開発者向けのガイドラインの策定、
- 薬剤耐性対策アクションプランに基づき、「ヒト用抗微生物薬開発の国際共通臨床評価ガイドライン」の策定に向けた欧米等との議論を本格化するとともに、ARI治療薬を対象とした優先審査等の検討
- 最先端技術を活用したゲノム検査装置やAI診断プログラム等について、日々世界で発表される製品性能に影響する新たな知見情報を随時収集し、適正かつ迅速に評価する体制の整備
- 高齢者のポリファーマシーの増加に伴う副作用の増強や薬物相互作用の発現等の問題に対応し、高齢者の薬物療法について各種ガイドラインの整備及びNDBや副作用情報のデータ解析など、高齢者の安全対策や適正使用の推進
- 添付文書等の情報では対応が困難なものについて、患者への情報提供に活用できる解説・応答要領を作成し、PMDAナビを通じて発信
- 平成29年7月に構築された再製造SUD（単回使用医療機器）制度を円滑に推進するため、事業者向けガイドラインの策定と事業者への立入り調査の実施

等の事業費を新規に要求しています。

来年4月には医療報酬と介護報酬の同時改定が行われます。6,300億円

となっている高齢化に伴う増加額を5,000億円程度に抑えることを含め、年末の予算編成に向け、政府、与党内で激しい議論が交わされるものと思われ
ますが、医療・介護等の社会保障の充実に必要な予算の確保に全力で取り組ん
で参りたいと思います。